

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-04-10
事務事業名	老人クラブ助成事業		
事業開始年度	昭和46年度		
根拠法令・要綱等	老人福祉法、岡山県老人福祉費(在宅)補助金交付要綱		
大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	問合せ先	介護福祉課
中項目 基本施策	やさしさあふれるまちづくり	職・氏名	高齢者福祉係長・春名美郎
小項目 施策	高齢者福祉	電話	64-1827

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	老人クラブ会員
目的(何のために)	地域の高齢者が生活を豊かにする楽しい活動や地域を豊かにする社会活動を目的に組織している老人クラブに対し、その育成・支援を行う。
行政活動(どのような方法で)	老人クラブの活動に対し補助金を交付する。老人クラブ連合会の事務局を担当し、評議員会や役員会の開催、文化活動として老人福祉大学(年4回)や会員相互の親睦、福祉の充実等の目的にグランドゴルフ大会の開催などを行っている。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	高齢者が日常的に健康づくりに取り組んだり、社会活動に積極的に参加できるようにする。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	老人クラブ会員数	人		6,681	6,424	6,107
	老人クラブ数	クラブ		106	103	98
	直接事業費	千円		6,118	7,612	7,020
	人件費	千円		5,260	5,600	4,174
	事業費計			11,378	13,212	11,194
	国県支出金			4,292	4,263	3,745
	受益者負担					
	市一般財源			7,086	8,949	7,449
	必要人員	人		0.65	0.60	0.50
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	老人クラブ会員数	説明				
	結果指標量	人		6,681	6,424	6,107
	対前年比	%		-	96.2%	95.1%
	活動コスト	円		11,378,000	13,212,000	11,194,000
単位当たりコスト	円		1,703	2,057	1,833	
結果指標	老人クラブ数	説明				
	結果指標量	人		106	103	98
	対前年比	%		-	97.2%	95.1%
	活動コスト	円		11,378,000	13,212,000	11,194,000
	単位当たりコスト	円		107,340	128,272	114,224

事業の成果			
成果指標名	老人クラブ加入率	式又は説明	会員数 / 60歳以上人口 × 100
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	47	45	42
対前年比		95.74%	93.33%
到達目標値	45	到達目標年度	平成22年度

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	C
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	単体老人クラブは高齢者の自主組織として活動しており、社会奉仕活動や健康づくり活動を行い元気な高齢者を目指し、積極的な活動をしている。老人クラブ連合会の事務局については、老人クラブへの移管を検討する。	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	効率性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	老人福祉大学については、適正な個人負担を徴収し事業実施を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	有効性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
手	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	老人福祉大学については、適正な個人負担を徴収し事業実施を行っている。	
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
職	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている	有効性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	有効性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	ライフスタイルの多様化でクラブ数及び会員数は減少傾向にある。単体クラブで会長のなり手がなく解散するところがある。会員拡大に向けて、加入促進対策を図る必要がある。活動については、会員自ら企画・立案し実施する必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している	有効性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		

平成20年度の状況		説明	クラブ数及び会員数は減少傾向にある。社会奉仕活動など一定の目的を持った老人クラブの育成・援助を図ることは重要である。各地区老人クラブの事務局は老人クラブが自主運営をする。	
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している			
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している			
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了			
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している				
目標値	結果指標量	6,200	結果指標量	98
	成果指標量		成果指標量	43

総合評価		評価区分<A-E>	C
老人クラブは、市内最大の組織であり、高齢者の健康づくり、社会奉仕活動を通じて、明るく活力ある高齢社会を形成するため、今後も事業を継続していく必要がある。しかし、会員数が減少している中で、老人クラブの活性化について検討するとともに、より効果的・効率的な事業展開を行う必要がある。			

平成21年度以降の方向性		説明	平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する		

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	市老人クラブ連合会の事務局を市から老人クラブへ移管するよう検討する。	21年度	自主的に活動することで、達成感や満足感、充実感など味わうことができ、高齢者の介護予防が図られる。
有効性	会員拡大に向けて加入促進対策を図る。	毎年度	閉じこもりの防止、健康の保持・増進につながる。